

東日本大震災から10年・特別宣言

東日本大震災の発生から明日で10年が経過する。

被災地の復旧・復興・再生はすすんでいるものの、いまだに多くの方が避難生活を余儀なくされており、また、風評被害を拭き切るには至らぬ産業もあるなど、復興・再生は道半ばにある。私たちは、この事実を肝に銘じ、震災の記憶を決して風化させることなく、被災地に思いを馳せ、寄り添い、そして、行動していく。

東日本大震災の発生からこれまで、地震・台風・集中豪雨など度重なる大規模自然災害を経験し、その都度、一丸となって懸命に取り組むことで、これらの難局を乗り越えると同時に、さまざまな教訓を得てきた。今、自然災害の頻発化・激甚化にくわえ、新しい生活様式への順応により働き方が変わるなど、大きな環境変化の最中^{さなか}にある。私たちは、いかなる環境変化が生じようとも、安心・安全の提供という損保グループ産業の社会的使命を果たしつつけていくべく、得られた教訓を着実に生かしていく。

私たちは、被災地の一日も早い復興・再生を願うとともに、損保グループ産業で働く者としての自負・誇りを胸に、ともに歩みをすすめていくことをここに宣言する。

2021年3月10日

損害保険労働組合連合会